

令和2年度 第1回 学校運営協議会の報告

令和2年度第1回会議は、5月26日(火)に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による審議となりました。令和元年度学校評価・令和2年度学校経営計画・授業アンケート質問項目・臨時休業中からこれまでの取り組み状況について、各委員から文書でご意見をいただき、6月19日(金)木原会長にお越しいただき、校長、教頭で協議とまとめをいたしました。

出席者(メール、電話、面談にてご意見をいただいた委員)

木原俊行(会長), 中務高俊(副会長), 中川智皓(委員), 山本博資(委員), 富士原純一(委員), 稲葉啓子(委員)

<議題・協議事項>

○令和2年度学校経営計画について

<中期的目標>

- ・今年度から、1. 人間性の涵養、2. キャリア教育と順序を入れ替えたことは、本校のめざす人材育成の観点から理解できる
- ・表現をわかりやすく変更されたことは評価できる
- ・広報活動の充実を欄外から中期的目標に入れたが、今年度の志願状況はどうであったか。
- 昨年度、志願倍率が例年よりも低かった普通科については、学校説明会を複数回実施するなど、広報活動の充実に努めた結果、以前と同じように高い倍率となった。しかし、音楽科では初めて定員を満たすことができなかった。今後、さらに広報活動を充実させるとともに、生徒減少期を迎える今後に向けて、中学生のニーズ把握など、教育庁と連携しながら対応していく。今後も、学校の特色、魅力発信に取り組んでいく。

<本年度の取組内容及び評価指標について>

- ・昨年度の評価をみたときに、今年度の目標設定をもう少し高く持ってもよい
- 評価指標については、昨年度と同程度に設定しているが、取組みがいい方向に進んでいるので、今年度は昨年度より高みをめざして取組んでいく。

○授業アンケートの質問項目、臨時休業中や分散登校中の取組みについて

- ・学校の様子が、新聞やニュースにも取り上げられていた。苦労しながらも学力保障・健康管理に取組まれていたことがわかる。この間、特にオンライン授業が取りざたされている。学習面は元より、国際交流についても活用できるのではないか。また、この期間の学習状況について、生徒へのアンケートや授業アンケートにも家庭での学習に関する項目をいれてはどうか。
- 中期目標にも「国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する」とある点を踏まえて、これまでもハワイのプナホウ高校とのテレビ会議などを行っているが、更にオンラインによる展開(Zoomなど)を考えていきたい。また、これまでの家庭での学習状況や今後の学校生活・進路に対する意識調査も実施する(6月中旬実施済み)。
- 授業アンケート項目に家庭での課題の取組みの追加を検討する。
- 第2波、第3波に備えて、オンラインによる双方向の授業展開ができるよう準備を進めている。

<議決事項> なし

<まとめ>

今年度の計画や、これまでの取組みに対してご意見をいただきましたが、委員からは、これまで経験をしたことのない事態ではあるが、学校の取組みとしては概ね順調に進んでいるのではないかと感想をいただきました。今後もより意識を高く持って、教育活動を展開してまいります。

第2回運営協議会は 10月20日(火)午後2時50分~午後5時(授業見学を含む。)を予定しております。

令和2年度 第2回 学校運営協議会の報告

令和2年10月20日(火)14時50分より、令和2年度第2回学校運営協議会を開催しました。

出席者 木原俊行(会長), 中務高俊(副会長), 中川智皓(委員・オンライン参加),
山本博資(委員), 富士原純一(委員), 稲葉啓子(委員)

議事に先立って授業観察を行い、委員の方からは「教師と生徒の距離が近く、双方向型の授業が行われている。」「生徒も先生の話に真剣に耳を傾けている。」「昔我々の時もこのような授業であれば、もっとよくわかったのではないか」など好印象の感想と、「ICT 機器利用の関しては、電子黒板としての機能を活かしているとはいえない。」「設備投資も視野に入れつつ工夫できる点があるのでは。」とのご指摘をいただきました。続いて、校長・各分掌・係から次の4点について説明、報告をしました。

- ①令和2年度学校経営計画進捗状況について
- ②令和2年度授業アンケート(第1回)結果について
- ③学校教育自己診断について
- ④令和3年度使用教科書について

<議題・協議事項>

○学校経営計画進捗状況について

- ・コロナ禍の中で、やるべきこと・やれることを自主自律の精神のもと取組まれている。
特に夕陽祭(9月に体育祭と文化祭を実施)を来年度以降どのようにされるのか。
 - 来年度の行事はコロナウイルスの状況によって柔軟に対応する予定。状況が良くなれば、例年の形で行いたい。体育祭と文化祭を連続で行うのは体力上厳しいが、一から行事を作り上げるという点で生徒間に絆が生まれたと思われる。
- ・地域との交流はどのようにされる予定か。
 - 小学生対象のイベントは、触れ合いが多いため現状開催するのは厳しいが、前向きに検討する。
- ・広報活動に関して、今年度の音楽科の入試において定員を満たさなかったことについて、にどのような対策を講じているか。
 - 音楽科だけでなく普通科とも、広報活動に力を入れる必要がある。本校生徒による母校訪問、SNSによる情報発信、地域交流などによる音楽科の魅力発信、等々を計画している。

○授業アンケート結果について

- ・授業を見させていただいた内容からも、高い評価となっているのは頷ける。いい授業をされている。
 - 数値は高い評価となっているが、単に易しい分かりやすいだけではなく、本当の意味で生徒に力を付けさせるものとなっているのか。見極める必要がある。

○学校教育自己診断について

- ・進路指導に関するアンケート項目について満足度数値が、他の項目よりも低い。
 - 他の項目に比べて低くなっているが、75%を超える肯定回答であり、個々に進路が異なることにもよると考えられる。進路に関するアンケートは学年進路係で詳しく取っているので、そちらを検討するものとする。
 - 休校中の学習に関する質問項目を追加する。

<議決事項> 令和3年度使用教科書

<まとめ>

今年度初めて顔を合わせての会議となり、授業観察を含め学校の様子を見て確認していただきました。委員からは、学校の取組みとしては概ね順調に進んでいるとの感想をいただきました。今後もより意識を高く持って、教育活動を展開してまいります。

最後に、次回第3回学校運営協議会(1/26 15:30)の連絡と挨拶の後、閉会となりました。

令和2年度 第3回 学校運営協議会の報告

令和2年度第3回会議は、1月26日(火)に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から第1回目と同様に書面による審議となりました。令和2年度学校評価(案)・令和3年度学校経営計画(案)・授業アンケート質問項目・臨時休業中からこれまでの取り組み状況について、各委員から文書でご意見をいただき、2月15日(月)木原会長にお越しいただき、校長、教頭、首席で協議とまとめをいたしました。

出席者(メールにてご意見をいただいた委員)

木原俊行(会長), 中務高俊(副会長), 中川智皓(委員), 山本博資(委員), 富士原純一(委員), 稲葉啓子(委員)

<議題・協議事項>

○令和2年度学校評価(今年度の取組み)についていただいた意見

大阪府立夕陽丘高等学校(以下、学校)の本年度の取り組み内容とそれに関する学校の自己点検の結果は、各種のデータに基づいて合理的に判断されており、妥当である。全体として、コロナ渦にあっても、学校の教職員が一体となって、生徒のためにできることに積極的に取り組んでいった姿勢に、学校運営協議会としては敬意を表したい。

まず、令和2年度の状況にあっても、学校行事を「自治会生徒を中心とした生徒たちの主体的な活動」として実施できたことはすばらしい。

また、学校がその特長を、各種メディアを通じて積極的に発信することは、昨年度の自己点検から浮き彫りになった課題であったし、また本年度の学校運営協議会が求めた改善事項でもあった。本年度の取り組み内容はそれに十分応じている。学校経営のPDCAサイクルが充実していることの証左である。

さらに、Classiでの健康観察やオンラインでの課題配信など、ICTの活用が素晴らしい。今後更に、新型コロナウイルス感染症に係る休業等における家庭学習の取組みに備えて、オンライン授業の配信などの準備も進めていただきたいし、それが音楽科等で一部試行されているのは頼もしい。

<議決事項> 令和3年度学校経営計画について

今年のコロナ禍の影響を鑑みた提案をいただき、中期的目標の2の項目に「コロナ禍における休業等を踏まえ、オンライン等のネットワークを介して自律的な学びを高める。」および3の項目に「オンラインによる国際交流活動を展開する。」を追加し、承認を受けた。

<まとめ>

今年度の取組みについて、コロナの影響のある中で、できることを着実にやっていることへの肯定的評価をいただいた。また、休業等における家庭学習の取組みに備えて、オンライン授業配信の準備を更に進める必要性をご指摘いただいた。今後、休業中だけでなく濃厚接触等により自宅待機となる生徒への授業配信や反転学習を取り入れた授業展開のための動画準備など、オンラインを活用した教育活動の展開を進めていく。